

理学療法科学域 博士論文書式

I. 投稿型の場合

書式は特定しない。投稿した雑誌の論文書式に従う。

II. ブック型の場合

1. 原稿の分量および形式は、下記のとおりとする。

- (1) 和文原稿はパソコンまたはワープロを用いて清書する。A4 版横書き縦 40 行・横 40 字の 1,600 字分を 1 ページとし、引用文献、図表、写真を含み、本文の合計が 200 ページ以内とする。
- (2) 英文原稿の場合は、ダブルスペースでパソコン又はワープロを用いて、引用文献、図表、写真を含み A4 版横書き 400 ページ以内とする。
- (3) 図表（パソコンまたはワープロを用いて清書）および写真は、それぞれ本文中に挿入する。

2. 原稿の構成

- (1) 原稿本文には、和文の要旨(400 字以内)とキーワード(5 語以内)、本文、引用文献、英語要旨(300 語以内の Abstract)と Key Words(5 語以内)の順に記載する。
- (2) 年号は原則として西暦を使用し、外国語・外国人名・地名は、原語もしくはカタカナ(最初は原綴りを併記)で書く。略語は本文中の最初に出たところでフルネームを入れる。
- (3) 引用文献の記載方法
 - (a) 本文中の該当箇所の右肩に、順に 1), 2) の通し番号を付し、文末に番号順に揚げる。
 - (b) 雑誌の場合

著者名：題名、雑誌名、巻(号)：引用ページ、発行年、の順に記載する。

[例]

井村恒郎：知覚抗争の現象について．神経誌，60：1239-1247, 1958.

Baxter LR, Schwartz JM, Phelps ME, et al.: Reduction of prefrontal cortex metabolism common to three types of depression. Arch Gen Psychiatry 46: 3-250, 1989.

(c) 単行本の場合

著者名：題名、監修ないし編集者、書名、版数：引用ページ、発行社名、発行地名、西暦発行日の順に記載する。

[例]

八木剛平，伊藤斉：躁鬱病．保崎秀夫編著，新精神医学：282-306，文光堂，東京，1990.

Gardner MB: Oncogenes and acute leukemia. Stass SA (ed), The Acute Leukemias: 327-359, Mercel Dekker, New York, 1987.

(d) 著者名が 4 名以上の場合、3 名連記の上、○○○，他、あるいは○○○，et al. とする。